

令和8年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和7年度の振り返りと令和9年度の取組検討）

施策No	332									
施策名	障がい者の社会参加と自立の推進							施策の目的	● 障がい者が地域社会の一員として自立し、自分らしく生活できるようにします。 ● 障がい特性の理解の促進を図り、心のバリアフリーを実現します。	
施策主管部長	こども福祉部長		施策幹事課長		障がい福祉課長			関係課	市民生活課、こども家庭センター、健康増進課、学校教育課	

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察

①中期基本計画の指標 目標年度(令和7年度)の目標値達成状況

	指標	単位	実績基準値	実績値				目標値	最終年度（R7）の 目標値達成状況	左欄の「目標値達成状況」の総括
			R2	R4	R5	R6	R7	R7		
a	障がい福祉サービス（介護給付、訓練等給付）月平均利用者数	人	1,655	1,760	1,867	1,905	2,078	1,775	①目標値を上回った	サービス利用者が増加傾向にあり、社会参加や地域での日常生活を実現する十分な支援となった。
b	就労している障がい者数（福祉的就労を含む）	人	961	1,108	1,245	1,345	1,322	985	①目標値を上回った	福祉的就労者が増加しており、雇用や自立・自活に向けた取組を支援した。
c	障がい者とふれあう機会があった市民の割合	%	38.3	38.6	38.4	42.0	44.7	41.5	①目標値を上回った	感染症などの影響による制限された生活が収束し、交流の機会が回復したことに加え、社会参加を促進するための支援の効果があらわれた。
d										

②後期基本計画 施策の対象・目的及び指標の設定 ※令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート「3. 後期基本計画策定のための施策の必要事項管理シート」から転記

	対象	対象指標		単位	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	R9(見込)	R10(見込)	R11(見込)	
①	市民	市人口（社人研推計）		人	115,700	114,695	113,498	112,515	111,388	110,515	109,641	108,768	
②	障がい者	障がい者数（手帳所持者数）		人	5,957	6,012	6,196	6,124	6,250	6,300	6,350	6,400	
③													
④													
目的		成果指標		単位	区分	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
・市民が障がいへの理解を深め、障がい者が社会参加できる地域社会を推進します。 ・障がい者が地域社会の一員として自立し、自分らしく生活できるようにします。	①	障がい福祉サービス(介護給付、訓練等給付) 月平均利用者数	人	目標値	1,700	1,725	1,750	1,775	1,965	1,995	2,025	2,055	
				実績値	1,760	1,867	1,905	2,078					
	②	就労している障がい者数(福祉的就労を含む)	人	目標値	970	975	980	985	1,350	1,355	1,360	1,365	
				実績値	1,108	1,245	1,345	1,322					
	③	障がい者とふれあう機会があった市民の割合	%	目標値	40.0	40.5	41.0	42.5	43.0	43.5	44.0	45.0	
				実績値	38.6	38.4	42.0	44.7					
	④			目標値									
				実績値									

(2) 基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）

（自立支援給付の取組）介護給付事業、訓練等給付事業 指標に定めた障がい福祉サービス数、就労している障がい者数とも目標値を上回り、障害者総合支援法の目的である地域社会における共生の実現に大きく貢献し、障がい者が地域社会の一員として自立し、自分らしく生活できることを支援した。

②計画通り進捗していない取組 ※理由及び今後の対応も含めて記載

なし

(3) 令和7年度行政経営方針の取組状況

①令和7年度行政経営方針

・ひきこもり当事者やその家族を支援するため、定例相談、ひきこもりサポーターとの情報共有を行うとともに、支援団体と連携し、居場所づくりの取組を進めていく。 ・医療的ケア児への対応について、自立支援協議会の専門部会において、受入れ側である通所支援事業所への意見聴取を行い、課題と諸条件について整理を行う。 ・介護者の緊急時に、在宅で単身での生活が困難な精神障がい者等の一時的な受入れについて、相談支援事業所等と連携し支援体制の拡大を進めていく。 ・意思疎通を支援できる人材確保のために、佐野市社会福祉協議会と連携し手話や点訳等の奉仕員養成講座を実施する。 ・障がいに対する理解啓発、事業所の障がい者雇用促進のため、広報媒体等の活用、商業施設等でのイベントの開催等、関係団体と連携し、市民や事業所等へ理解促進を図る。

②令和7年度行政経営方針の取組状況

・ひきこもり定例相談業務やアウトリーチ（訪問活動）を実施するとともに、ひきこもりサポーターとの情報共有や関係機関との連携調整を行った。 ・医療的ケア児への対応については、自立支援協議会の専門部会を通じて、受け入れ側である通所支援事業所から意見を聴取し、課題共有を行った。 ・安心生活支援事業としてコーディネーターを配置し、障がい者の受け入れについて相談事業所と共に体制を維持し、緊急時対応者リストを更新した。 ・意思疎通を支援できる人材の確保を目的に、佐野市社会福祉協議会と連携し、手話や点訳のスキルを学ぶ奉仕員養成講座を開催した。 ・障がいに対する理解を広めるため、広報媒体や商業施設でのイベントを活用し、関係団体と連携して市民および事業者への啓発活動を行った。また、事業所による障がい者雇用促進を支援した。

(4) 環境変化や関係者の意見、要望等

・障がい福祉サービス利用者、利用額とも右肩上がりで増加している。特に障がい児の伸びが大きい。 ・令和8年3月に障害福祉計画等に関する（国の）基本指針の改正が行われた。これを受けて令和8年度より佐野市を含む市町村・都道府県による障がい福祉計画の策定作業が行われる。
--

2. 課題と次年度（令和9年度）の取組

(1) 課題

① 精神障がい者等を対象とする緊急時の受入体制の充実 ② 障がい者の社会参加を支援するための各種奉仕員の養成 ③ 障がいの特性に対する理解や障がい者差別の解消に向けた活動の推進 ④ ひきこもり支援体制の整備と支援の充実 ⑤ 医療的ケア児の包括的な支援体制の整備
--

(2) 課題に対する今年度(令和8年度)内の取組状況、予定

①緊急対応が必要な対象者の状態等の変化があることから、緊急時対応者リストの更新を行い、対応を実施していく。 さらに、安心生活支援事業の周知を行うとともに関係機関等の協力を求め、連携しながら情報収集に努め協議を継続する。 ②手話や要約筆記などの奉仕員養成講座を実施するとともに修了者の知識・技術力の向上を図るため、意思疎通活動を支援する。 ③障がい者の社会参加のため、一人でも多くの市民に障がい等に関する理解を深めていくために周知啓発を推進する。 ④ひきこもりの相談・支援を継続し、社会情勢や取り巻く環境が大きく変わる中で、多様な状況に対応できる支援体制を検討する。 ⑤医療的ケア児が地域で安心して暮らせるよう、障がい者施設等が受入れるための諸条件に関する協議を継続する。
--

(3) 次年度(令和9年度)の取組(案)

①緊急対応が必要な障がい者の受け入れ体制を充実させるため、障がい者の生活を支援する安心生活支援事業の周知を行う。また、関係機関等と連携しながら情報収集を行い、緊急時対応者リストの更新に取り組む。 ②障がい者の社会参加を支援するため、意思疎通支援活動を推進するとともに、手話や要約筆記などの奉仕員養成講座を実施し、資格取得を目指す人材の育成及び修了者の知識・技術の向上を図る。 ③多くの市民や事業所に障がい等に関する理解を深めてもらうため、イベント等を活用し周知啓発の推進に取り組む。 ④ひきこもり支援の充実のため、相談・支援を継続し、社会情勢や取り巻く環境が大きく変わる中で、多様な状況に対応できる支援体制の検討に取り組む。 ⑤医療的ケア児・者が地域で安心して暮らすために、障がい者施設等が受入れるための諸条件に関する協議を継続する。

※重点取組は太字・下線で記載